

子どもの保健 **感染症**

感染症に当てはまるカードを選びなさい。

<注意>カードの表記で、明らかに感染症に結びつくキーワードは「？」としています。
そこもしっかり入れましょう。

感染症	カード番号
麻疹（はしか）	
インフルエンザ	
風しん	
水痘（水ぼうそう）	
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ・ムンプス）	
咽頭結膜熱（プール熱）	
流行性角結膜炎	
百日咳	
溶連菌感染症	
手足口病	
伝染性紅斑（りんご病）	
ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス感染症）	
ウイルス性胃腸炎（ロタウイルス感染症）	
ヘルパンギーナ	

(1)

病原体	アデノウイルス
潜伏期間	2～14 日
感染経路	飛沫感染 接触感染
症状	目の充血 目やに
登園の目安	結膜炎の症状が消失していること

(2)

病原体	コクサッキーウイルスA16、A10、A6、エンテロウイルス71 等 *原因ウイルスが複数あるため、何度でも罹患する可能性がある
潜伏期間	3～6日
感染経路	飛沫感染 接触感染 経口感染
症状	口腔粘膜と手足の末端に水疱性発疹 発熱とのどの痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が口腔内にでき、唾液が増え、手足の末端、おしり等に水疱（水ぶくれ）が生じる
登園の目安	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること *ウイルス排出期間が長く、感染拡大を防止するために登園を控えることは有効性が低い

(3)

病原体	？
潜伏期間	12～48 時間
感染経路	経口感染 飛沫感染 接触感染 *感染者の便には、多くのウイルスが排出されている。また、嘔吐物の中にも多量のウイルスが含まれている。感染力が強く、乾燥してエアロゾル化した嘔吐物を介して、空気感染（飛沫核感染）することもある。
症状	嘔吐 下痢 脱水
登園の目安	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること *登園を再開した後も、ウイルスは便中に3週間以上排出されることがあるため、排便後やおむつ交換後の手洗いを徹底する

(4)

病原体	?
潜伏期間	16~18日
感染経路	主に飛沫感染 接触感染もある
症状	全身の発疹(約3日間で消え、色素沈着も残さない) 発熱 リンパ節腫脹
登園の目安	発疹が消失していること

(5)

病原体	?
潜伏期間	8~12日
感染経路	飛沫感染 接触感染及 空気感染(飛沫核感染) *感染力は非常に強く、免疫がない場合はほぼ100%の人が感染する
症状	① 熱(38~39℃) 解熱後再度発熱 口の中にコプリック斑 ② 全身に発疹 ③ 発疹は色素沈着を残して消える
登園の目安	解熱後3日を経過していること

(6)

病原体	アデノウイルス
潜伏期間	2~14日
感染経路	飛沫感染 接触感染
症状	高熱 扁桃腺炎 結膜炎
登園の目安	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること

(7)

病原体	?
潜伏期間	1~4日
感染経路	主に飛沫感染 接触感染もある
症状	突然の高熱が3~4日続く 全身症状 気道症状 症状は1週間程度で回復
登園の目安	発症した後5日経過し、かつ解熱した後3日経過していること (乳幼児の場合)

(8)

病原体	?
潜伏期間	1～3日
感染経路	経口感染 接触感染 飛沫感染 *患者の便には多量のウイルスが含まれている。10～100 個程度の少ないウイルス量でも感染する。
症状	嘔吐 下痢 白色便
登園の目安	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること *登園を再開した後も、ウイルスは便中に3週間以上排出されることがあるため、排便後やおむつ交換後の手洗いを徹底する

(9)

病原体	?
潜伏期間	7～10日
感染経路	飛沫感染 接触感染
症状	特有な咳（レプリゼ・フープ）
登園の目安	特有な咳が消失していること又は5日間の適正な抗菌薬による治療が終了していること

(10)

病原体	?
潜伏期間	14～16日
感染経路	飛沫感染 空気感染 *感染力が強く、免疫のない人はほぼ100%が感染する
症状	全身の、斑点状の赤い丘しん→水疱（水ぶくれ）→痂皮（かさぶた）
登園の目安	全ての発しんが痂皮（かさぶた）化していること

(11)

病原体	?
潜伏期間	16～18日
感染経路	唾液を介した飛沫感染 接触感染
症状	発熱 唾液腺（耳下腺・顎下腺・舌下腺）の腫脹・疼痛 発熱は1～6日間続く
登園の目安	耳下腺、顎下腺、舌下腺の膨張が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること

(12)

病原体	ヒトパルボウイルスB19
潜伏期間	4～14日
感染経路	飛沫感染
症状	感染後5～10日に数日間のウイルス血症 両側頬部に孤立性淡紅色斑丘疹が現れ、3～4日のうちに融合して蝶翼状の紅斑となる
登園の目安	全身状態が良いこと *発疹が出現する時期には感染力はなくなる

(13)

病原体	溶血性レンサ球菌
潜伏期間	2～5日 伝染性膿痂疹（とびひ）では7～10日
感染経路	飛沫感染 接触感染 食品を介して経口感染する場合もある
症状	扁桃炎 伝染性膿痂疹（とびひ） など
登園の目安	抗菌薬の内服後24～48時間が経過していること

(14)

病原体	主としてコクサッキーウイルス *原因ウイルスは複数あるため、何度でも罹患する可能性がある
潜伏期間	3～6日
感染経路	飛沫感染 接触感染 経口感染
症状	高熱 のどの痛み 咽頭に赤い粘膜疹がみられ、次に水疱（水ぶくれ）となり、間もなく潰瘍となる
登園の目安	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること *感染拡大を防止するために登園を控えることは有効性が低く、またウイルス排出期間が長いことから現実的ではない

<解答>

感染症	カード番号
麻疹（はしか）	5
インフルエンザ	7
風しん	4
水痘（水ぼうそう）	10
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ・ムンプス）	11
咽頭結膜熱（プール熱）	6
流行性角結膜炎	1
百日咳	9
溶連菌感染症	13
手足口病	2
伝染性紅斑（りんご病）	12
ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス感染症）	3
ウイルス性胃腸炎（ロタウイルス感染症）	8
ヘルパンギーナ	14